

学校番号	12	学校名	静岡県立袋井特別支援学校	校長名	鈴木 滋夫
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

自ら光る子を育てる ～自分のよさを磨いて豊かに生きる～

自分自身の五感を使い、さまざまな活動をするなかで、
元々持っている自分の「よさ」に気づき、「よさ」を伸ばし、「よさ」を磨いて豊かに生きる。

(2) 目指す学校像

- ア 安心して生活、学習できる学校
- イ 自分の力を精いっぱい発揮できる学校
- ウ 保護者、地域と共に歩む学校

(3) 目標具現化の柱

- ア 学びを支える環境をつくる 【安全・安心】
- イ 学びを積み上げる授業をつくる 【子ども主体の授業】
- ウ 学びを共に育てる連携をつくる 【連携】

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載） * 「業務改善」についても記入する。

＜教育活動を支える基本的な考え方＞

ICTの活用…業務の効率化、授業の充実。

業務改善 …資料や教材の共有、システムの構築等を行い、環境を整備する。

例：周知の方法、環境整備、データ化、共有

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
安全・安心	未然防止の行動力と有事への対応力	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的、実践的な訓練や研修の計画と実施 ・アクションカード（簡易マニュアル）の活用 ・「生活安全」「交通安全」「災害安全」の視点での学校安全管理体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種訓練時や有事の際の役割や対応方法がわかり、対応することができた。 ・学校管理下での重大事故件数0件 	危機管理課 生徒指導課 保健給食課
		<ul style="list-style-type: none"> ・有事における医療的ケア児の安全性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアにおける緊急時や災害時の対応ができる、災害用備品の保管場所や使用方法が分かる 該当教員 80% 	保健給食課
安全・安心	安全な学習環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境整備への意識向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理責任場所の安全点検等の機会を通して安全な学習環境の整備を实践できた教員 100% 	総務課
		<ul style="list-style-type: none"> ・目的に基づいた予算の策定と課題解決のための、時節を捉えた柔軟な予算執行 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を見据えた予算計画を策定し、効果的に予算執行できた。 	事務部

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
子ども主体の授業	深い学びを実現するための授業実践	・班別研修の推進	・児童生徒の言動から解釈を話し合うことで児童生徒の思考の流れに沿う授業実践ができた教員100%	研修課
	12年間の積み上げる授業実践	・12年間の全体計画を活用した授業実践（性の指導、進路学習、道徳、防災教育）	・全体計画を活用して、学年学部に応じた授業づくりや実践をすることができた。 ・年間指導計画や学年経営案を定期的に振り返り、全体計画に基づく学年・グループの方針を反映させながら、授業実践した教員100%	体育課 進路指導課 生徒指導課 危機管理課 教務課 各学部
	学び続ける教職員集団の構築	・キャリアステージ研修の推進 ・袋特版OJT推進 ・話しやすい風土の醸成 ・教職員の人權感覚の向上	・気軽に相談できる教員がいて答えた教員100%（基礎・向上期） ・経験年数の浅い教員を育てるために、必要なことを自ら伝えようとした教員100%（充実・発展期、深化・熟練期） ・多様な考えを認め、対話の中で自分の考えが深まったと感じる教職員100%	学習支援課 学部主事 管理職
連携	【校外】 共生社会の実現に向けた地域社会や保護者と連携した取り組みと情報発信	・目的を明確にした交流及び共同学習の実施（学校間交流、交流籍交流）	・本校における交流及び共同学習の実践を知り、地域に参加していくためのきっかけとなる活動について考えた教員100%	支援連携課
		・袋井市と本校双方向からの支援の充実	・学校訪問や本校見学を実施後、特別支援教育についての知識を深めたり課題解決の機会としたりすることができた袋井市教員100% ・学校訪問を通して管理職または特別支援教育コーディネーターに対して助言をすることができた教員100%（コンサルタント対象） ・学校案内で本校の特別支援教育について説明ができた教員100%（学年主任）	支援連携課 管理職
		・地域や社会とつながり合う授業や教育活動の実践	・学校運営協議会制度を活用した交流活動を教科等の年間指導計画に入れ、年一回以上実践した学年グループ100%	支援連携課 各学部

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
連 携		<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動等の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 各学部、グループ等において、児童生徒の教育活動を月に1度以上ホームページで発信する。 年間の作品展スケジュールにある作品展のうち、1回以上作品を出展することができた学年グループ等 90% 	図書情報課 学習支援課 支援連携課 （作品展の開拓）
		<ul style="list-style-type: none"> 保護者への情報提供（実態や年齢に応じた対応、進路指導等） 	<ul style="list-style-type: none"> 実態や年齢に応じた対応（性の指導を含む）や進路指導を保護者面談等で情報提供できた教員 100% 	体育課 進路指導課 自立活動課 学年主任
	【校内】 学部や分掌間の連携による教育課題解決への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 合同学年主任会、分掌課長会の実施 学年主任や分掌課長の業務内容等の研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体の中で果たす役割が分かり、他学年主任や他分掌課長と連携をとって運営した学年主任、分掌課長 100% 	副校長、教頭 学部主事 学年主任 分掌課長